

板橋区立常盤台小学校 家庭学習の手引き（保護者向け）

小学校の学習は、将来児童が社会人として自立するための基礎となるものです。学校では日々の授業を通して、学習内容を確実に身に付けさせるよう努力していますが、ご家庭と連携して、児童に自ら学ぶ習慣を身に付けさせることで、理解や定着がより確かなものとなると考えます。板橋区校長会では「家庭学習の手引き」として、低学年用・中学年用・高学年用の3つを作成しました。これまで本校では「学びのBASIC」で「家庭学習」についてお伝えしていましたが、今後は区校長会の手引きを活用し、学習習慣の定着を図って参りたいと考えています。お子さんが見えるところに掲示し、いつでも見られるようにしてください。家庭学習の趣旨をご理解いただき、ご協力たまわりますようお願いいたします。

1 家庭学習のねらい

- ①子どもに、家庭での学習習慣を身に付けさせることです。
 - ②子どもの自発的な学習意欲を伸ばすことです。
 - ③子どもに、基礎学力を身に付けさせることです。
- 中でも特に大切なのは、「学習習慣を身に付けさせる」ことです。小学校のうちに机に向かう習慣を身に付けることが、将来に大きく役立ちます。

2 家庭学習の習慣や方法

- (1) 習慣化のためのポイント
- ①毎日必ず決められた時間は学習する。（できれば時刻を決めて）
 - ②テレビを見ながらしない。
 - ③机の上をきれいにし姿勢をよくして行う。
 - ④中学年以上は、「答え合わせ（自分で）」まで
- 【答え合わせをする意味】
- 答え合わせは、単に「正解・不正解」を確かめる活動ではありません。「不正解」の問題の「どこが間違っているのか」「どうして間違えたのか」を考えることにより、「自分の理解度」を把握することができます。そして、その後の「正解を考える」「間違わないように練習する」ことが、より「確かな理解・定着」へとつながるのです。

(2) 学年の発達段階による家庭学習

低学年	中学年	高学年
学校の宿題はできる。	学校の宿題は確実にできる。	宿題がなくても計画的に学習ができる。
毎日でも学習しようとする気持ちになる。	宿題以外にも少しずつ自主的な学習ができる。	自分の興味や必要性のある自主学習ができる。
少しずつ自分で答え合わせができる。	自分で答え合わせができる。	自分で答え合わせができる。

*自主学習の例は、児童用の「学習の手引き」に掲載しています。

3 家庭学習のさせ方

- ①「宿題」があったら、最初にそれをさせてください。
 - ② 家庭学習の時間のめやす
- 1年生は20分、2年生以上は、学年×10分をめやすに。
- ③ 時間が余ったら、「家庭学習の手引き」の中から選んでさせてください。（高学年は、自分で考えさせてもいいでしょう。）
 - ④ どうしても勉強に飽きてしまうときは、読書でも折り紙でも何でもかまいませんが、必ず机に向かわせましょう。「机に向かう」という習慣が大切です。



4 おうちの方々へのお願い

- 〈低学年では〉
- 学習するときは、できるだけ近くでみてあげてください。
 - 静かな環境の中で取り組ませてください。
 - 少しずつ自分で時間割や学習用具をそろえられるようお話してください。
 - ときどき音読（教科書などを声に出して読むこと）を聞いてあげてください。
- 〈中学年では〉

 - あたたかい助言や励ましをお願いします。
 - 自分から自主的に学習に取り組む習慣を付けさせてください。
 - 地域の文化や産業、生き物の観察などにも興味をもたせるようにしてください。
 - ときどき音読を聞いてあげてください。
- 〈高学年では〉
- 家族の言葉かけで意欲や興味・関心を高めてください。
 - 生活のリズムを整え、計画的にできるようご配慮ください。
 - 「やればできる」という気持ちと、学ぶ楽しさやわかる喜びを味わえるようお願いいたします



【家庭学習を日常化するために】

- ・読書を習慣化しましょう。（家族で静かに本を読む時間を作りましょう）
- ・国語辞典・漢字辞典、その他の図鑑を身近に置きましょう。
- ・日本地図、世界地図、地球儀などを身近に置きましょう。
- ・自然や生き物と触れ合いましょう。